

スラリー状のコンクリート取扱い作業 リスクアセスメントシート

実施日 年 月 日

業者名		作業内容			保護具着用管理責任者	
メーカー		製品名			化学物質名	下表にチェックを入れる
作業所名		作業期間			SDSシートの有無	有・無
<input checked="" type="checkbox"/>	成分名（別名）	CAS RN	リスクアセスメント 対象物質	発がん性物質	皮膚等障害化学物質	GHSラベル
<input type="checkbox"/>	酸化カルシウム（生石灰）	1305-78-8	○		○	  
<input type="checkbox"/>	水酸化カルシウム（消石灰）	1305-62-0	○		○	  
<input type="checkbox"/>	二酸化ケイ素（シリカ）	7631-86-9	○	区分1A		 
有害性	   	<p>○重篤な皮膚の薬傷</p> <p>○重篤な眼の損傷</p> <p>○飲み込む、吸入する又は皮膚に接触すると生命に危険あるいは有毒</p> <p>○セメントは水と接触すると、強いアルカリ性を示し、皮膚や眼の粘膜を腐食する。</p> <p>○手や足に付いてから長時間放置すると、皮膚が溶けて、治療に数か月を要する場合がある</p> <p>○打設したコンクリートに雨水等が溜まると、その水もアルカリ性になるので、肌を腐食する。</p> <p>○遺伝性疾患および発がんのおそれ</p> <p>○強い眼刺激、皮膚刺激アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ</p>				
		<p>○皮膚に付着した場合はすぐに拭き取り、大量の水で洗い流す。痛みや皮膚の赤み、炎症等が出た場合、速やかに医師の診断を受ける。</p>				
		<p>○眼に入った場合直ちに清浄な流水で数分間洗眼した後、医師の処置を受ける。</p>				
リスクを軽減する対策						
種別	作業内容	防護手袋	保護メガネ	作業服	安全靴	
Ⓐ	コンクリート打設等作業	天然ゴム製等の手袋を使用する。（手首が出ないような長さのものを使用する。また手袋の口からスラリーが入らないようにする。スラリーが中に入った場合には、手袋を取り替える。 （軍手は適さない。）	側板（サイドシールド）付き保護眼鏡を使用する。	皮膚が露出せず、モルタル等が浸透しない服を使用する。 首元が開かないように注意する。 (夏季においては、熱中症対策が必要)	液体が染みない安全靴を使用する。 靴の中にスラリーが入らない形の長靴を使用する。 (コンクリート等の深さに注意)	
Ⓑ	モルタル塗り等作業 セメント水等が付着する可能性がある作業			液体が染みない服を使用する。	靴の中にスラリーが入らない形の長靴を使用する。 (コンクリート等の深さに注意)	
Ⓒ	だめ直し等少量のモルタルを使用する補修作業			モルタルが飛散することが予想される場合には、側板（サイドシールド）付き保護眼鏡を使用する。	靴の中にスラリーが入らない形の長靴を使用する。	
作業員の サイン						
元請 確認						